

平成30年度第2回
弘前市上下水道事業経営審議会

水道事業広域化について

2018年10月4日(木)

弘前市上下水道部

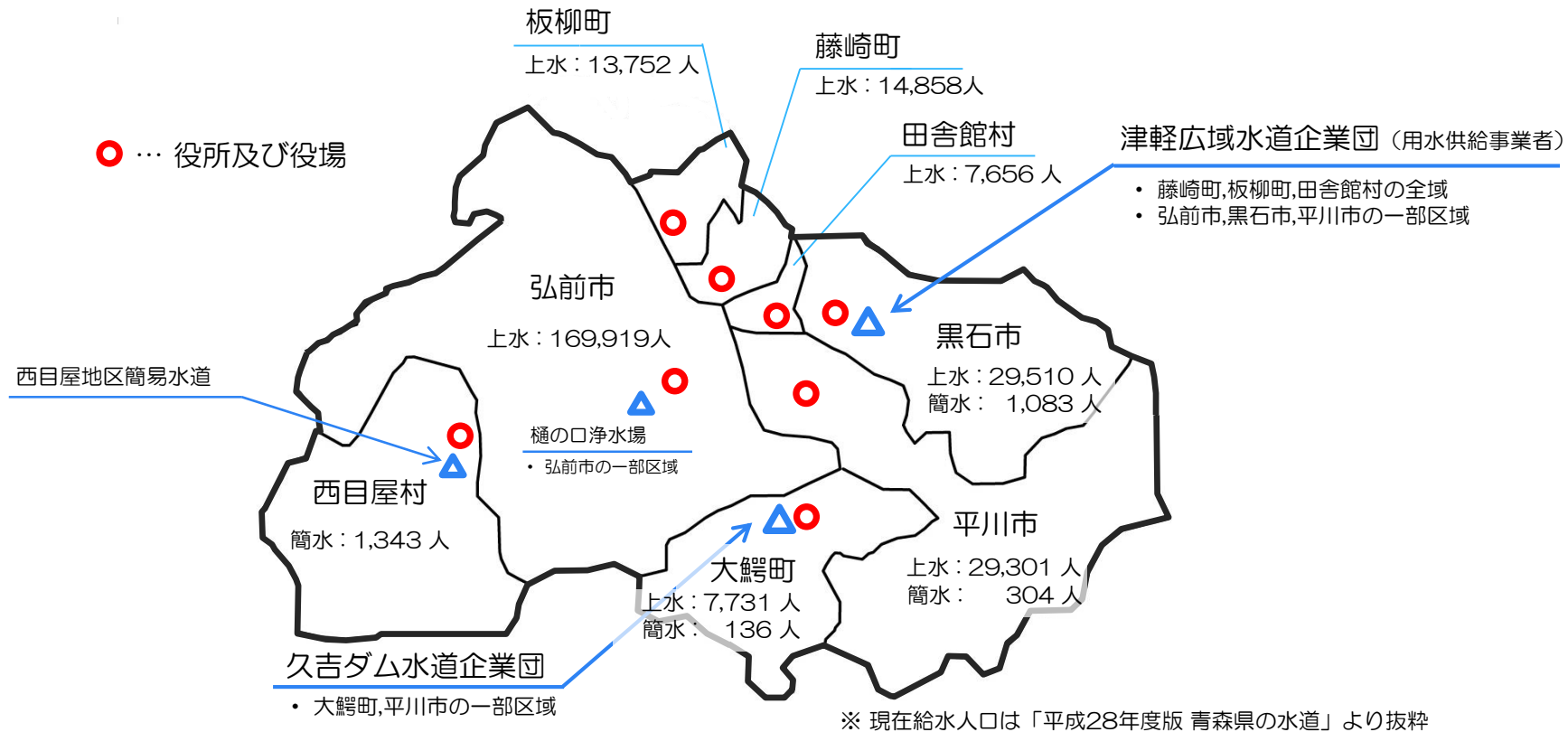
水道法の一部を改正する法律案の概要及び当市の対応

【改正の趣旨】

人口減少に伴う水の需要の減少、水道施設の老朽化、深刻化する人材不足等の水道の直面する課題に対応し、水道の基盤の強化を図るため、所要の措置を講ずる。

改正水道法の概要	市の対応
1 関係者の責務の明確化 (1) 国、都道府県及び市町村は水道の基盤の強化に関する施策を策定し、推進または実施するよう努めなければならない。 (2) 都道府県は水道事業者の間の広域的な連携を推進するよう努めなければならない。 (3) 水道事業者等はその事業の基盤の強化に努めなければならない。	青森県の指導の下、中南地区の協議の場として、中南地区会議を設置し、当市のほか黒石市、平川市、西目屋村、藤崎町、大鰐町、田舎館村、板柳町、久吉ダム水道企業団の9事業体で営業部門7業務の広域包括委託化に向けた協議を進めており、今年度中には方向性を示すこととしている。
2 広域連携の推進 (1) 国は広域連携の推進を含む水道の基盤を強化するための基本方針を定めることとする。 (2) 都道府県は基本方針に基づき、関係市町村及び水道事業者の同意を得て水道基盤強化計画を定めることができることとする。 (3) 都道府県は、広域連携を推進するため、関係市町村及び水道事業者等を構成員とする協議会を設けることができることとする。	
3 適切な資産管理の推進 (1) 水道事業者等は、水道施設を良好な状態に保つように、維持及び修繕をしなければならないこととする。 (2) 水道事業者等は、水道施設を適切に管理するための水道台帳を作成し、保管しなければならないこととする。 (3) 水道事業者等は、長期的な観点から、水道施設の計画的な更新に努めなければならないこととする。 (4) 水道事業者等は、水道施設の更新に関する費用を含む事業に係る収支の見通しを作成し、公表するよう努めなければならないこととする。	平成28年度水道事業アセットマネジメント計画を策定し、長期的な水道施設の更新計画及び財政収支計画を策定済みである。また、水道台帳はマッピングシステムにより、補完済みである。
4 官民連携の推進 地方公共団体が、水道事業者としての位置付けを維持しつつ、厚生労働大臣の認可を受けて、水道施設に関する公共施設等運営権を民間事業者に設定できる仕組みを導入する。	営業部門及び管路維持に係る業務を包括委託済みであり、また、今後の樋の口浄水場等整備事業においてもDBO等の手法を導入し、官民連携を推し進める。
5 指定給水装置工事事業者制度の改善 資質の保持や実体との乖離の防止を図るため、指定給水装置工事事業者の指定に更新性(5年)を導入する。	改正水道法の施行に合わせて、指定給水装置工事事業者の指定更新制度導入に向けた準備を進めている。

中南地区区域図



地区内給水人口

275,593人（H28年度末）

給水人口構成比

弘前市	61.7 %	藤崎町	5.4 %	田舎館村	2.8 %
黒石市	11.1 %	板柳町	5.0 %	西目屋村	0.4 %
平川市	10.7 %	大鰐町	2.9 %		

営業部門の広域化の効果

(1) 広域化で予想される効果

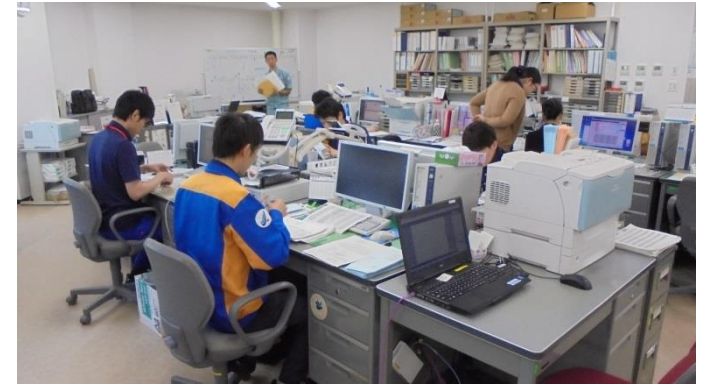
- ① 直営人件費及び委託費が低減される。
- ② 業務の一元化によるワンストップサービスが可能となる。
- ③ 包括によるスケールメリットが期待できる。
- ④ 料金納付窓口の広域化によるサービス向上が図られる。
- ⑤ 個人情報の一元化管理による未収対応の迅速化が図られる
- ⑥ 将来の経営統合の土台作りに繋がる。



営業部門の広域化の課題

(1) 制度導入に際しての課題

- ① 事業体ごとの委託への考え方の違い
- ② 既得権のある地元業者への配慮
- ③ システムや他の業者で委託済の業務の調整
- ④ 委託料見合いの費用対効果の検討
- ⑤ 収納率や住民サービス向上の検証
- ⑥ 料金単価や料金体系の複数処理



(2) 業務運用上の課題

- ① 検針員等の情報引継ぎや技術やノウハウの承継
- ② 複数事業体に対応可能な体制構築
- ③ 複数業務の管理体制及び業務手順の整理
- ④ 業務エリア拡大への対応



1.受付業務



主な業務内容

- 給水装置使用開始・中止・廃止届受付
- 漏水調査受付業務
- 公共下水道使用開始届受付
- 弘前市多子家族水道料金等支援補助金交付申請受付 他

第3回アンケート結果

市町村名	黒石市	平川市	西目屋村	藤崎町	大鰐町	田舎館村	板柳町	久吉ダム水道企業団	理由・疑問点・特記事項
現状	直営	直営	直営	直営	直営	直営	直営	直営	<ul style="list-style-type: none"> ・経費削減効果を期待する。 ・現状では、広域化を検討する余裕が無い。 ・年間の申請件数が少ない。 ・受付窓口が遠くなり、対応の遅れが懸念される。
広域化	広域化	広域化	広域化	広域化	広域化	広域化	広域化	広域化	

※ 津軽広域水道企業団は用水供給事業者のためアンケート対象外としています。

2.水道料金等徴収及び収納事務



主な業務内容

- 納入通知書の発付
- 消込処理
- 収納日計表の作成
- 重複納付等による還付・充当 他

第3回アンケート結果

市町村名	黒石市	平川市	西目屋村	藤崎町	大鰐町	田舎館村	板柳町	久吉ダム水道企業団	理由・疑問点・特記事項
現状	直営	直営	直営	直営	直営	直営 & 委託 (個人)	委託 (個人)	直営	<ul style="list-style-type: none"> ・経費削減効果を期待する。(再掲) ・収納の効率化を期待する。 ・現状では、広域化を検討する余裕が無い。(再掲) ・料金システムの統合に係る費用負担と移行期間を検討する必要がある。 ・料金統一となった場合の住民説明責任。
広域化	広域化	広域化	広域化	広域化	広域化	広域化	広域化	広域化	

※ 津軽広域水道企業団は用水供給事業者のためアンケート対象外としています。

3.滞納整理業務



主な業務内容

- 督促状及び催告書作成・発送、電話催告及び訪問催告
- 給水停止予告書の作成・送付
- 給水停止 他

第3回アンケート結果

市町村名	黒石市	平川市	西目屋村	藤崎町	大鰐町	田舎館村	板柳町	久吉ダム水道企業団	理由・疑問点・特記事項
現状	直営	直営	直営	直営	—	直営	直営	直営	<ul style="list-style-type: none"> ・経費削減効果を期待する。（再掲） ・滞納件数の減少を期待する。 ・現状では、広域化を検討する余裕が無い。（再掲） ・現在滞納者は居ないが、広域化により発生することが懸念される。
広域化	広域化	広域化	広域化	広域化	広域化	広域化	広域化	広域化	

※ 津軽広域水道企業団は用水供給事業者のためアンケート対象外としています。

4.水道料金等の調定等業務



主な業務内容

- 検針用ハンディターミナルから、料金システムへの取込み
- 料金請求データ作成
- 各種報告書等の作成
- セキュリティ及びバックアップ体制の維持
- 統計・分析資料の作成

第3回アンケート結果

市町村名	黒石市	平川市	西目屋村	藤崎町	大鰐町	田舎館村	板柳町	久吉ダム水道企業団	理由・疑問点・特記事項
現状	直営	直営	直営	直営	直営	直営	委託(業者)	直営	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現システムの更新に費用を要しているため、統合による経費削減を期待する。 ・ 新たなシステム導入費用の確保は難しい。 ・ 現状では、広域化を検討する余裕が無い。(再掲) ・ 料金システムの統合に係る費用負担と移行期間を検討する必要がある。(再掲) ・ 料金システムの移行時期を各事業体の切替えのタイミングに合わせてもらいたい。
広域化	広域化	広域化	広域化	広域化	広域化	広域化	広域化	広域化	

※ 津軽広域水道企業団は用水供給事業者のためアンケート対象外としています。

5.メーター検針業務



主な業務内容

- 検針スケジュールの作成
- 異常水量等の調査、認定等の処理
- 検針員ごとの検針件数を集計

第3回アンケート結果

市町村名	黒石市	平川市	西目屋村	藤崎町	大鰐町	田舎館村	板柳町	久吉ダム水道企業団	理由・疑問点・特記事項
現状	委託 (個人)	委託 (個人 業者)	委託 (個人)	委託 (個人)	—	委託 (個人)	委託 (業者)	委託 (個人)	<ul style="list-style-type: none"> ・現状維持でも良いが、広域化によるメリットを期待する。 ・現検針員の業務体制や引継ぎを検討する必要がある。 ・現状では、広域化を検討する余裕が無い。(再掲) ・メーターが無いため(定額制)新設費用が嵩む。
広域化	広域化	広域化	広域化	広域化	広域化	広域化	広域化	広域化	

※ 津軽広域水道企業団は用水供給事業者のためアンケート対象外としています。

6.止水栓開閉業務



主な業務内容

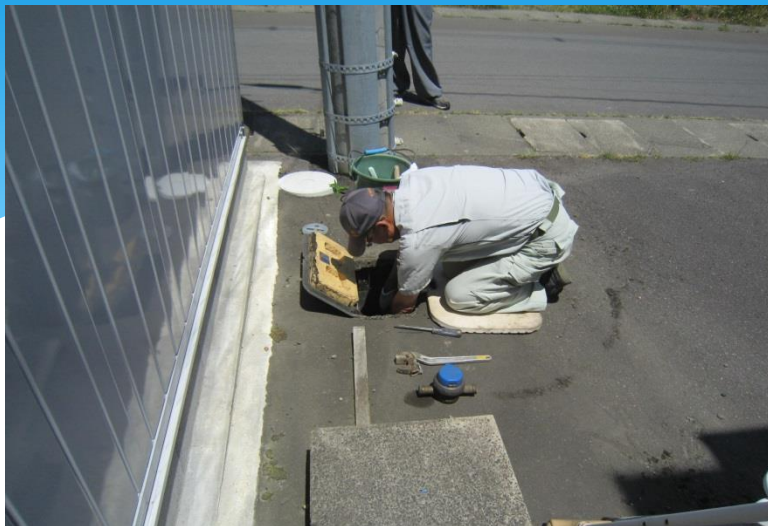
- 開栓・閉栓作業
- 料金精算業務 他

第3回アンケート結果

市町村名	黒石市	平川市	西目屋村	藤崎町	大鰐町	田舎館村	板柳町	久吉ダム水道企業団	理由・疑問点・特記事項
現状	委託 (業者)	直営	直営	直営	委託 (業者)	直営	直営	直営	<ul style="list-style-type: none"> ・経費削減効果を期待する。(再掲) ・業務の軽減と効率化を期待する。 ・広域化に伴う地元企業との関わりを検討する必要がある。 ・現状では、広域化を検討する余裕が無い。(再掲) ・年間の申請件数が少ない。(再掲) ・受付窓口が遠くなり、対応の遅れが懸念される。(再掲)
広域化	広域化	広域化	広域化	広域化	広域化	広域化	広域化	広域化	

※ 津軽広域水道企業団は用水供給事業者のためアンケート対象外としています。

7.メーター交換業務



主な業務内容

- メーター出入庫業務
- メーター保管、在庫管理
- 検定満期メーター、故障等メーターの交換
- 検定満期メーター交換事前通知 他

第3回アンケート結果

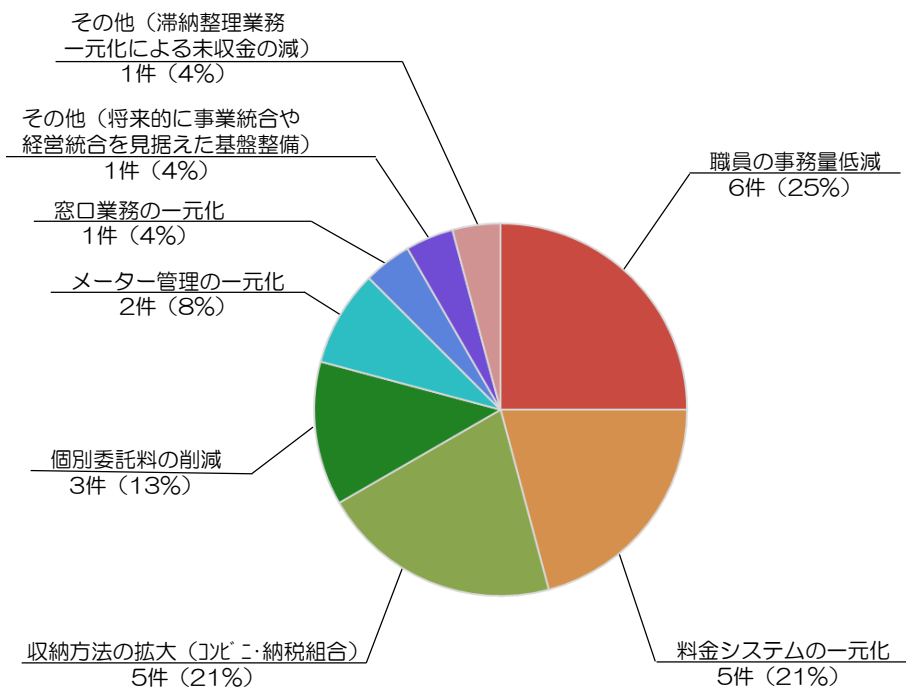
市町村名	黒石市	平川市	西目屋村	藤崎町	大鰐町	田舎館村	板柳町	久吉ダム水道企業団	理由・疑問点・特記事項
現状	委託 (業者)	委託 (業者)	委託 (業者)	委託 (業者)	—	委託 (業者)	委託 (業者)	委託 (業者)	<ul style="list-style-type: none"> ・経費の軽減と効率化を期待する。(再掲) ・広域化に伴う地元企業との関わりを検討する必要がある。(再掲) ・現状では、広域化を検討する余裕が無い。(再掲) ・年間の申請件数が少ない。(再掲) ・受付窓口が遠くなり、対応の遅れが懸念される。(再掲)
広域化	広域化	広域化	広域化	広域化	広域化	広域化	広域化	広域化	

※ 津軽広域水道企業団は用水供給事業者のためアンケート対象外としています。

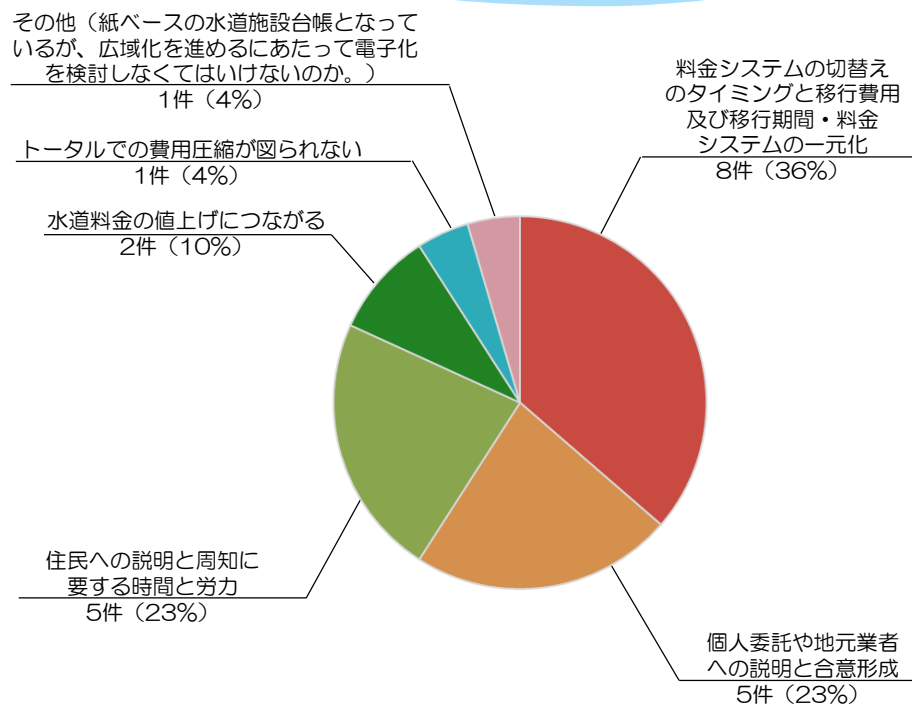
アンケート結果

営業部門の広域化によるメリットやリスクについて

期待されるメリット



予想されるリスク



平成30年度広域化スケジュール

時期	青森県	中南地区
2018年12月	—	第6回地区会議 ・青森県への検討結果報告の内容確認 ・公表に向けた資料の確認
2019年1月	各地区の検討結果と公表資料の報告	—
2019年2月	県議会報告	各市町村議会報告（議決は不要）
2019年3月末	県HPで全地区の取組状況の公表	各市町村HPで公表

※ 第6回地区会議後、経営審議会へ報告予定（2018年12月～2019年1月）